

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生涯スポーツ推進事業				シート番号	008-092
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ推進	課 評価責任者(課長名) 小川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 21 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	スポーツ基本法			
	4	関連計画	第二次堺市スポーツ推進計画			
5	事業実施の経緯	<p>●市民が身近なところでスポーツを行う機会を増やすため、ニュースポーツ用具貸出事業を平成12年に開始。 ●堺ツアーデーマーチは、市民の提案を受け、政令指定都市移行を機に平成18年に開始し、だれでも気軽にできるウォーキングの実施と市外参加者に向けての「堺市」のPRを行ってきたが、参加者数の減少等により、平成30年度から事業を廃止し、新たに市民が身近に運動する機会を創出し継続的なスポーツ活動を定着させるための事業を実施。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	子どもから高齢者まで幅広い世代の市民が、それぞれの体力や年齢、運動技能に応じて、生涯にわたってスポーツ活動に親しむことのできる仕組みづくりを推進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>●運動スポーツ習慣化推進事業 多くの市民が運動・スポーツに興味関心を持ち、気軽に楽しみながら継続して実施できるよう、身近な地域のスポーツ環境を整備するため、市内のスポーツ団体等で構成する「堺市運動・スポーツ習慣化推進事業実行委員会」に負担金を支出し、ウォーキング大会や各種スポーツ教室を開催する。 実施内容:高齢者や障害者等対象別のスポーツ教室、各校区におけるノルディックウォーキング教室、体力測定会、総合型地域スポーツクラブへのトップレベルチーム講師の派遣 等</p> <p>●ニュースポーツの推進 体育館においてニュースポーツ用具の配置・貸出事業を実施し、子どもから高齢者の方までスポーツに親しめるような機会を提供する。 貸出用品:グラウンドゴルフ、キンボール、カローリング、ターゲットパードゴルフ 等</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	堺市運動・スポーツ習慣化推進事業実行委員会				

Ⅲ. 投入量

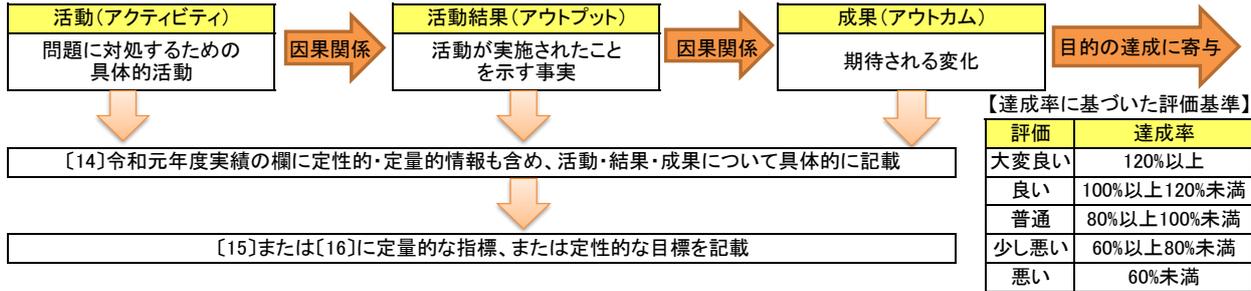
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	5,117	5,117	1,500	1,292	1,500	1,292	1,500	
主な事業費内訳	運動スポーツ習慣化事業負担金	千円	0	0	1,500	1,292	1,500	1,037	1,500
	ツアーデーマーチ開催負担金	千円	5,117	5,117	0	0	0	0	0
		千円							
		千円							
	財源内訳	千円							
	国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他()	千円								
一般財源	千円	5,117	5,117	1,500	1,292	1,500	1,292	1,500	
12 人件費 (b)	千円	9,020	8,200	4,100	4,100	4,050	4,050	4,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	14,137	13,317	5,600	5,392	5,550	5,342	5,600	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	シート番号	008-092
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
活動実績と成果	14	●運動スポーツ習慣化推進事業 事業実施回数: 9回(H30)→19回(R1)、参加者数: 211人(H30)→724人(R1) ・事業計画(目標)に及ばなかったものの、全体としては昨年の倍の事業実施が実現できたほか、参加者総数も大幅に増加しており多くの市民の方にスポーツ実施機会を創出できた。また本事業の目的である継続的な運動実施につながるよう一部の事業を複数回のシリーズ事業にするなどの工夫を行った。体力測定についても継続的に参加する方が見受けられ継続的な運動実施に結びついている。				
		●ニュースポーツ貸出実績 ニュースポーツ用具貸出実績合計: 748回/年(H30)→1332/年(R1) 各体育館に設置しているニュースポーツ用具について、ほぼ毎日貸出実績があり、市民が継続的に運動に取り組んでいることがわかる。なかでもグラウンドゴルフの貸出実績が多く、身近に楽しめるスポーツとして特に高齢者を中心に定着してきている。				
		15	回	回	回	回
		16	回	回	回	回
		算出方法・設定根拠など				
		算出方法・設定根拠など				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	講師派遣回数	回		7	6
	②	上記①にかかる年間経費	千円		90	90
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		12,857	15,000
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	スポーツ教室等の開催	回		9	19
	②	上記①にかかる年間経費	千円		1,293	1,037
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		143,667	54,579
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	●運動スポーツ習慣化推進事業 事業計画に対して計画的な事業実施ができなかった。要因としてはコロナウイルス感染拡大により予定していた事業を中止したこと等による。次年度はコロナウイルスの感染対策を講じながらスポーツ推進委員に対して研修を実施するなど安全・安心な運営ノウハウ等を知っていただく機会をつくり事業実施につなげていく。
	●ニュースポーツ用具貸出 年間1,000回を超える貸出実績があり、1日平均でも4回以上の実績となっている。継続的に使用されている団体もあり、スポーツ実施率の向上に寄与している。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	シート番号	008-092
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 廃止した場合には、子どもをはじめ市民の運動機会の減少につながり、運動不足による体力低下等を招く恐れがあるが、堺市教育スポーツ振興事業団にて、これらの課題を補うため、運動習慣化につながるスポーツ教室等を実施することが可能であるため本事業は廃止する。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止した場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		・運動スポーツ習慣化事業については、今年度で3年を迎え、一部の地域では継続的なウォーキング実施につながるなどの効果があった。今後は、(公財)堺市教育スポーツ振興事業団が実施する他のスポーツ教室等とあわせて効果的な事業実施を図ることにより、本市の事業は縮小し、令和3年度末をもって廃止する。			